Japan Dietetic Federation news letter 2016.12

連盟だより

平成28年度 平成28年12月吉日

発行 日本栄養士連盟

東京都港区新橋5-13-5 新橋MCVビル6階

TEL:03-5425-6710 FAX:03-5425-6711

1. 会長挨拶

「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も」

日本栄養士連盟会長 加藤 廣子

皆様こんにちは お忙しい中にもお元気にお過ごし の事と存じます。

私は娘時代、親や歴史から、上杉鷹山の「為せば成る、 為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」 の名言を聞いていました。当時はフーンとわかったよ うなふりをしていましたが、年を重ねた今、行動を成 しているか否か、自分の心に問う事があります。

栄養士連盟が発足して随分と経ちましたが、未だに、 栄養士会さえあれば栄養士連盟などいらないのではな いかと言われることがあり、連盟の意義が認識されて いないことを痛感しております。

そこで、改めて、連盟の必要性について述べたいと 思います。栄養士会が、社団法人から公益社団法人に 衣替えした時に、公益性が重視されて政治的中立性が 求められるようになったため、政治的な活動が制約されるようになりました。しかし、栄養士の社会的な地位の向上、処遇改善、栄養関係政策の充実のためには政府や政権与党などへの政治的働きかけが不可欠です。この政治活動を行うために、栄養士会とは別に栄養士連盟が結成されたのです。

ですから、連盟は政権与党の選挙の応援をすることに より、政府、政権与党から栄養関係政策の充実につい て協力を戴くという関係を築いて来ているのです。

数は力です。是非、各都道府県での会員増にご協力 をお願い致します。

皆様と共に前進して行きましょう。

鷹山の名言「為す」ことに心しているか問いながら…。

②. 平成 29 年度予算・税制等に関する懇談会の概要

平成28年10月20日、自由民主党 予算・税制等に関する政策懇談会に於いて提出、説明した要望内容は以下のとおりです。

- 1. 医療機関相互の連携や医療・介護・在宅の連携の評価
- 2. 国民の健康の維持のための栄養施策の推進

1. 医療機関相互の連携や医療・介護・在宅の連携の評価について

- ○入院中の栄養管理、栄養食事指導内容を転院先医療・介護施設、在宅を担当している管理栄養士等と、共同して栄養管理計画を行うことで、シームレスな栄養管理が実現する。
- ○管理栄養士が存在しない、かかりつけ医の患者に 対し、拠点病院管理栄養士が連携し栄養食事指導

を行う。

- ○地域包括支援センターに管理栄養士を配置し、地域に対し栄養情報を繋ぐ。
- 2. 国民の健康の維持のための栄養施策の推進について
 - ○健康日本21(第二次)の推進のための栄養施策の充 実と体制の準備
 - ・健康づくりに関して身近で専門医的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加⇒15,000か所
 - ・主要な生活習慣病の発症予防と重症者予防の徹 底
 - ・高齢者の健康の維持
 - ・健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に



情報発信を行 う企業登録数 の増加(特定給 食施設等)

・次世代の健康・ 健康な生活習 慣(栄養・食生

活・運動)を有する子どもの割合の増加

- ・栄養、食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善
- これらの整備により、国民の健康の維持増進・医療費の抑制に繋がる。

目的は、社会保障制度の継続のため、健康寿命のさらなる延伸、健康格差の是正です。

要望事項を成就するために、栄養士会と協働しなが

ら連盟活動を戦略的にして参りましょう。

政策懇談会に出席して

厚生関係議員、厚生労働省職員多数列席される場で、事前に提出した要望書に沿って各団体が持ち時間5分の内で、熱弁をふるいます。「選挙に強い」とアピールする団体、切実に困っていることを訴える団体、インパクトのある主張が次々と出る中、私たち栄養士・管理栄養士の要望はどの様に届いたでしょうか。法を変えるために議員の皆様の力を借りねばならないとしたら、「この団体の役に立ってあげたい。」と、思わせるような説得力のある要望書を練り上げること。そして、胸に響く言葉が必要ではないかと感じました。そのためには、まだまだ勉強が足りないと痛感しました。栄養士会との連携を強め、戦略を磨いて行きたいものです。

3. 総会・協議会・役員会の概要

I. 平成28年度 日本栄養士連盟 第41回通常総会の概要

平成28年6月27日(月)東京ビッグサイトで、第41回 通常総会を開催しました。 加藤会長の挨拶の後、来 賓として自由民主党栄養士議員連盟山東昭子会長、土 屋品子幹事長にご臨席賜り、「今、国民が一番求めている医療・介護の問題は重要であり、日頃からご支援いただいている皆様にお応えしていく必要がある。政策的にもずっと見守っていきたい。」「栄養士の役割も更に重要になっており、食環境の変化、また、予防・治療の分野においても栄養士の役割を多くの人に理解していただきたい。」と、ご挨拶をいただきました。次に、日本栄養士会小松龍史会長からは、それぞれの役割を果たしつつ、連盟としっかりと連携していきたいとのご挨拶がありました。

第1号議案 平成27年度活動報告及び収支決算並びに 監査報告。

昨年度は栄養士会の協力も得ながら栄養士議員連盟の先生方の多大なるご理解、ご支援のもと20年ぶりに診療報酬の改定等がなされ連盟活動の成果となりました。質疑は、各選挙管理委員会へ政治資金団体として届けをしている支部から、連盟の会計年度を選管の会計年(1月~12月)に変更願えないかでしたが、変更

なしで承認。

第2号議案 平成28年度活動計画及び平成28年度収支 予算案。

活動計画は、①会員への政治意識の啓発②陳情活動の強化③組織の強化(特に会員増対策)④国政選挙での会員の擁立及び衆・参議院推薦候補者の支援の4つを重点目標とすることを提案され承認。

収支予算案は、会員の減少に伴い支部長会議の開催 回数を年1回とすること等の提案がされ承認。

質疑の中で特に会員増対策について活発な意見が出ましたが、いずれも、栄養士会と十分な連携を図り協力いただくという意見が多数でした。

第3号議案 賛助会員に係る規約改正。

連盟の趣旨に賛同するものであれば、加入者の所属 する支部長の承認を得なくても本人の希望する支部へ 加入できることの提案、ついで会費の配分についての 質疑もあり討論され、改正案の本人の希望する支部へ の配分ということで賛成多数で承認。

第4号議案 平成28・29年度役員・地区幹事承認の件。

高橋征子選挙管理委員長からの提案説明があり承認。新旧役員挨拶の後、閉会となりました。

II. 平成28年度 第1回(公社)日本栄養士会· 日本栄養士連盟連絡協議会概要

平成28年7月10日(日)、日本栄養士会会議室におい て第1回連絡協議会が開催されました。栄養士会9名、 連盟7名が出席しました。最初に、小松会長から、連 盟活動への感謝の言葉と将来構想のキーワード「理論、 機会、人、智」についての説明があり、加藤会長から、「連 盟会員は全員栄養士会会員であります。現在連盟への 未加入者が多い現状であり、連盟活動にとって数は力 である。会員増のため栄養士会に一層の協力を願う。」 との挨拶がありました。栄養士会連盟ともに新執行体 制等の報告があり、議事に入りました。

栄養士会から、「連絡会議については、必要に応じ て開催したい。|平成30年度医療・介護同時改訂に向け て、検討委員会が発足しており、連盟役員も参加の要 望をしました。栄養士会からの回答は、「現在は、要 望活動の基礎となる各種調査の検討を行っており、要 望書検討の段階から参加していただきたい。「職域事 業部の委員会には、必要に応じて連盟職域担当幹事に 声かけし参加していただくなど連携を深めたい。」との ことでした。

平成29年予算要望については栄養士会から、「栄養

士会は全ての栄養士・管理栄養士の立場を考慮し、広 範囲(全ての事業部)にわたり要望活動を展開すること になる。現在の要望は理事会で承認されたものである が、連盟が自民党に要望するときは重点要望事項を抜 粋することも考えられる。」との回答。その後、9月に 栄養士会と重点要望事項を協議検討し、10月20日開 催の、自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」 への要望を決定しました。

Ⅲ. 平成28年度 第1回役員会開催概要

本年度は支部長会議が、年1回の実施となったこと から、それに代わるものとして地区幹事及び職域幹事、 監事の出席で10月12日(水)参議院議員会館会議室で 開催しました。新役員の紹介、要望事項についての協 議等を行いました。



連盟 丁幹事長代理、 中 Лij 雅治事 一務局長 栄養士議

4. 会費はどのように使われているのでしょうか

日栄正会員の皆様、連盟会費を納入していただいて ますでしょうか。この10月末現在、会費納入率は低 迷しております。「別納になったから面倒」とか「政治 には関心がない」とか、そのようなことでよいのでしょ うか。「自分の職業が大切」と思われるのでしたら、会 費を納入して連盟活動を応援してください。賛助会費 も大歓迎です。会費納入はいつでも受付しています。

会長挨拶にもあるように連盟活動は政治活動です。 公益法人の日栄の活動のように、即会員にメリットが 感じられるものではありません。

具体的には、「社会の変化に対応して、国民の健康 づくりを支援する職能団体」として、政治的要望を栄 養士議員連盟等を通して理解していただく活動をして おります。

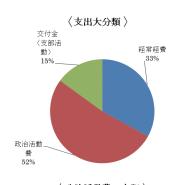
28年度予算からみた活動を紹介させていただきます。

- ①連盟会費2.000円のうち1.000円は本部、1.000円 は支部の活動費です
- ②本部における支出予算の状況

※渉外費については要望内容によって関係機関への働

きかけ等で増減が大きくなります。栄養士・管理栄養士 の現状を知っていただくための活動のメインです。

上記活動をスムースに運営するための「活動源」が皆 様の会費です。ご理解を頂き一層のご協力をお願いし ます。



· 経常経費: 事務局運営費

・交付金(支部活動): 選挙活動に伴うもの

〈 政治活動費の内訳 〉



〈政治活動費の内訳〉

·会議費:総会、支部長会議、 地区別合同支部長会 議、常任幹事会、監 事会等

・会員管理費:会員管理システ ム保守管理費

・ 渉外費: 国会議員訪問、他団 体との連携活動、政 策調査活動費等

・広報費:機関紙発行、ホーム ページ運営費等

5. 新常任幹事 挨拶

「常任幹事として」

38年間の公務員生活終了と同時に連盟支部長、2年後に地区幹事4年を経て、今年度副会長を拝命しました。日栄の職域幹事を10年余り経験したことはあるものの、連盟は外野から応援するだけの一会員に過ぎなかった私が、こんな大役をお受けしたのは、ひとえ

「常任幹事、就任に当たり」

本年度より、常任幹事に就任いたしました半田廣志 です。皆様どうか宜しくお願い申し上げます。

私たちの団体は小さな組織です。栄養士は決して、派手な仕事ではありませんが、人間が生きていくためには大事な仕事を担っています。会員はもちろんの事、会員ではない栄養士・管理栄養士の方々も含めて頑張っていかなければ未来はありません。仕事は小さ

日本栄養士連盟副会長 鈴木眞理子

にこれまで公私ともに支え励まして下さった先輩後輩 同僚の方々への恩返しに他なりません。

これからも、皆様の意見や希望を汲み上げ、良い形 にしてお返しすることが出来れば幸いです。

日本栄養士連盟常任幹事 半田廣志

くても、重ねていくことにより大きく伸びていく仕事 ですが、一人ではやっていけません。皆様方の協力な しでは進みません。

私たちは、将来のある栄養士・管理栄養士のために 頑張っていかなければなりません。

どうか、ご指導・ご支援をお願い申し上げます。

日本栄養士連盟 都道府県支部長一覧

平成28年11月現在

支部名	支部長氏名								
北海道	問田 美智子	埼玉	中山 順子	岐阜	堀 冨士夫	鳥取	平田 早百合	佐賀	宮本 千佳子
青森	齋川 成夫	千葉	木嶋 義郎	静岡	鈴木 眞理子	島根	松本 千秋	長崎	桶谷 紀子
岩手	太田代 健二	東京	奥村 眞理子	愛知	冨田 卓邦	岡山	山崎 由紀	熊本	戸次 元子
宮城	渡邉 みね子	神奈川	中丸 ちづ子	三重	長谷 圓吉	広島	石田 洋子	大分	星野 隆
秋田	泉源	新潟	阿部 久四郎	滋賀	東森 佳子	山口	光永 勇	宮崎	黒木 典子
山形	鈴木 黎子	富山	西田 秀子	京都	澤田 典子	徳島	橋本 佳代	鹿児島	川西 孝子
福島	角田 真佐枝	石川	田中 弘美	大阪	伊藤 大翼	香川	今田 淳子	沖縄	山内 久美
茨城	髙橋 征子	福井	清水 瑠美子	兵庫	田中 美智子	愛媛	永易 マルミ		_
栃木	久保 泉	山梨	渡邉 富雄	奈良	山中 弘子	高知	藤村 巌		
群馬	細野 美枝子	長野	浜岡 一美	和歌山	吉村 幸代	福岡	的野 秀子		

日本栄養士連盟 本部役員一覧(平成28・29年度)

役職名	氏 名
会 長	加藤 廣子
副会長	斎藤 美加子
副会長	鈴木 眞理子
幹事長	澤谷 久枝
財政部長	松井 直子
常任幹事	半田 廣志
地区幹事(北海道·東北区)	問田 美智子
地区幹事(関東·甲信越区)	渡邉 富雄

氏 名
木嶋 義郎
冨田 卓邦
福永 恵子
松本 千秋
吉浦 栄子
金子 攻
井上 幸子
半田 廣志

役職名	氏 名
職域事業部幹事(研究教育)	渡邉 榮吉
職域事業部幹事(公衆衛生)	森 ひろ子
職域事業部幹事(地域活動)	角谷 ヒロ子
職域事業部幹事(福祉)	髙橋 由紀子
監 事	青山 浩子
監 事	大河内 裕子
職域事業部幹事(福祉) 監事	高橋 由紀子 青山 浩子



おねがい

皆様からのご意見・情報をお待ちしております。 連盟事務局宛に、FAX あるいはメールでも結構です。

FAX: 03-5425-6711 E-mail: info@eiyourenmei.jp

04 &